

倉 渚 地 域 審 議 会

新市建設計画実施計画に係る質疑（ハード事業）

事業名	No.	質 疑	回 答
倉渚中学校施設整備事業	1	<p>今後の予定及び方針の中に、小学校統廃合校の中学校隣接地建設を検討する中であるが、このことについて説明願います。</p>	<p>本庁学校教育課で学校体育施設の検討と併せ、川浦小学校の複式学級の問題等、倉渚の教育について検討している。</p> <p>複式学級の是非や答申にあるように小中一貫教育を踏まえて小学校を中学校の周辺に造るという問題等、答申の内容を良く精査し、教育面から検討を重ねている。</p> <p>教育面及びその他の色々な面から検討し、本庁の調整会議等において方針が決定されていく。</p>
自然公園整備事業	2	<p>県の許認可が取り消されない限り、整備することはできないという説明だが、許認可が取り消される可能性はあるのか。</p>	<p>群馬県土地水対策室へ、倉渚村が競売により取得したこと、留置権の解除に当たり3,800万円の支払いをしたこと、また、個人の土地賃貸借契約も裁判により解除したことを報告し、県の許認可について伺った。</p> <p>土地水対策室では、大規模開発の承認をしており、面積では17ha程で農地に関する承認となり、35ha程の山林の開発許可については、林務部で出している。</p> <p>当時、群馬県が出した許可書のコピーをもとに、許可期間は、平成4年から平成6年3月30日までだが、既に12年が経過し、その許可の条件には、状況報告を毎月行い、それが行われなない場合には取り消すという条項があるので、それを根拠に、群馬県は、12年間放ってきたため許可を取り消すことができるのではないかという話をした。</p> <p>また、群馬県では、開発の許認可を受けている相場さん（高崎北高校前のゴルフ練習場社長）へ、文書照会で許可の取り消しをするよう話をしている。</p>

事業名	No.	質 疑	回 答
自然公園整備事業	2		<p>林地対策については、高崎環境森林事務所と調整を行っている。</p> <p>大規模承認と林地開発は、セットで動いているため、林地開発のみ手続きをとるのではなく、同時に進める予定である。</p> <p>県の職員と協議したところ、大規模承認及び林地開発の許可を受けている相場さんを近々取り消し申請のため、訪問することになっている。</p>
	3	<p>基本構想策定にあたり、犬の運動場、ドッグランを検討していただきたい。(面積は1反歩程度、周りをフェンスで囲い、小犬用と中型、大型犬用に分け、多少木を植え、ベンチを置き休憩ができる設備)</p>	<p>これから色々な要望、ご意見等をいただき、構想の中に盛り込めればと考えている。貴重なご意見として頂戴したい。</p>
倉淵・ふるさと住宅建設事業	4	<p>宅地開発について、色々なところで分譲しているが、販売状況はあまり芳しくないため、倉淵地域の開発に多少不安がある。働く場所、職場が近くなる、高崎の街中まで通勤する人が、倉淵に住むかどうか考えてしまう。</p> <p>そこで、職場について、合併する榛名町を含め、比較的倉淵に近い範囲に新しい職場や工場誘致などを検討してもらえると、倉淵の人口増、少子化対策に繋がるのではないかと感じている。</p>	<p>上原地区の宅地開発については、倉淵地域の玄関口であり、JR安中榛名駅に近く、市内への通勤30分程度の利便性から選定した。上原地区では、ふるさと住宅の建設と併せ、土地の分譲計画もある。土地の分譲については、今年、業者委託し需要性の調査を実施し、その結果、自然条件には恵まれているが、生活をしていく上での一般的条件は劣るというような結果がでている。しかし、過疎対策の一環として計画している。</p> <p>また、分譲地については、高崎市でも全部販売されていない状況にあり、JR安中榛名駅の周辺においては、全部で600位が分譲されているが、まだ400位が余っている。従って、この分譲事業については、そういうところの目途が立った時点で考えようということになっている。</p> <p>また、働き場所だが、今年度、榛名町が一体となる中で、榛名地域に期待できるが、具体的に考えていない。</p> <p>ふるさと住宅施設については、地域外への通勤者、倉淵地域内における分家の方たちのために、また、40歳未満の若い方たちの住宅ということであるので、そういう方たちへの期待に沿えるような方向で建設をしていくことになる。</p>

事業名	No.	質 疑	回 答
倉淵・ふるさと住宅建設事業	5	<p>倉淵ふるさと住宅建設事業について、疑問を感じています。</p> <p>この事業は、旧倉淵村の時から計画され、地権者にも事業計画を説明してきたと思う。しかし、今までに、地権者に対して事業の進捗状況の説明がないという話が聞こえてきた。地権者の中には、自分の代にはこの事業は、実現しないのではないかと話している方もいる。合併したことにより、事業推進が1日1日先へ延びているような感じがする。合併して良かったと肌で感じるような町づくりを盛んに掲げているが、そういうものが、遠のいていっているような状態ではないか。</p> <p>地権者の方へ、いつ頃、どのような説明を行ったのか、経過報告をお聞かせ願う。</p>	<p>上原地区宅地開発事業は、過疎計画が平成7年12月に決定をされて、その中に位置付けされた。</p> <p>平成9年6月から8月にかけて、この事業についての意向調査を地権者に実施している。地権者8名、13筆だが、その段階では、概ね賛成の回答をいただいている。それ以降、この場所に埋蔵文化財が一部あり、平成13年1月に埋蔵文化財調査の実施、及び発掘物の権利放棄について全員の承諾をいただいた。</p> <p>平成16年3月に事業実施に伴う地元への説明会（地権者6名出席）で、埋蔵文化財の調査報告、今後の事業計画について説明し、また、農振法による農用地区域のため、農振の除外の手続きと調査における土地の立入についての上承をいただいた。それと併せ、平成16年度改良予定の腰巻上原線の説明をした。平成17年10月に農用地区域から除外され、その後、腰巻上原線と田畑地区集落道の整備を進め、平成18年3月に完成した。</p> <p>この開発区域は、開発をしていくという方向で農振の除外及び周辺の整備をしてきた。</p> <p>今後の予定は、10月12日に地権者に対して状況報告会を実施する予定である。</p>
	6	<p>数年前、農地についての問題で、転用等に関し農業委員会にかけたと思う。</p> <p>しかし、その時は、農業委員会で否決されているが、その後の農業委員会の対応や農業委員会と当時の倉淵村との話し合い等、進展していたのかどうか。</p>	<p>上原地区（住宅建設予定地）の農地が、農振農用地の区域にあり、農振協議会へ除外区域1haの協議をした。</p> <p>農振協議会において、進展がないまま1年間が過ぎ、法定の協議機関である農業委員会や農協等を含め意見を伺った。</p> <p>結果的に農振協議会や農業委員会では、結論が出ず、また、最終的に除外の了解をいただけなかったということ踏まえ、倉淵村長として、その意見は尊重したが、倉淵村として除外していくという方向で群馬県へ進達した。</p> <p>群馬県で現地調査した結果、同意が得られ、倉淵村長が除外した。よって、現在は、事業着工ができる状況になっている。</p>

新市建設計画実施計画に係る質疑（ソフト事業）

事業名	No.	質 疑	回 答
高崎都市内地域連携事業	1	<p>平成19年度までに、ハード事業とソフト事業の色々な事業が計画されている。各事業において、参加者が集まるのは、バスを準備し、移動できるからだと思う。</p> <p>しかし、実際に、高崎市内からぐるりんバスを利用した時、現在では、権田車庫で「はまゆう山荘」のバスが迎えに来て、乗り継ぐという形になっている。</p> <p>ぐるりんバスの本数は、午前と午後2本ずつになり、非常に便利になったが、ぐるりんバスの利用など交通アクセスの問題をどう考えているか。</p>	<p>高崎都市内地域連携事業として、倉淵地域から旧高崎市内へ、或いは、旧高崎市内から倉淵地域へ来て体験する交流事業について、車等全部準備し体験等をする設定である。今までに、ぐるりんバスを利用し、この事業の推進は行っていない。</p> <p>しかし、ぐるりんバスは、10月から正式にスタートし、午前2便、午後2便、高崎と倉淵から相互にできることになった。大変便利になっているので、この事業等でも利用できる形での計画設定ができればと考えている。</p> <p>事務局として、十分検討し、対応していきたい。</p>
	2	<p>現在、相間川温泉は、ぐるりんバスが、停車するようになっている。</p> <p>「はまゆう山荘」の風呂も天然温泉になり、高崎から入りにきたいという人がいた時、ぐるりんバスが巡回していれば、より便利で使いやすいと思う。路線バスとの兼ね合いなど色々あると思うが、是非とも検討をしていただきたい。</p>	<p>要望としてお聞きし、そのような点も含め、今後検討していきたい。</p>

その他の質疑

No.	質 疑	回 答
1	<p>倉淵、箕郷、群馬、新町の歩いてみよう新高崎市というタイトルで、商業課が発行しているパンフに、倉淵の飲食店あるいは物産店、はまゆう山荘、相間川温泉などが掲載され、はまゆう山荘のところにカッコして温泉利用という表記があった。</p> <p>相間川温泉に来るお客さんから、何故、今まで相間川温泉は、はまゆう山荘の天然温泉や温泉利用を隠していたのか、という苦情があった。</p> <p>あのようなパンフを発行する時には、相当注意し、校正を慎重にしていかないと、関係のないところに苦情がきてしまう。</p> <p>また、倉淵の商店、飲食店全部が掲載されていないが、掲載される基準があるのかどうかお聞かせ願う。</p>	<p>「はまゆう山荘」の温泉利用の表記の件について、一般的には天然温泉と誤解を与えるため、ご指摘のとおり手落ちであり、多くの方に多大な迷惑をおかけしたことを、心からお詫び申し上げます。既に、25,000部程印刷し、配布してあるので、対応策として、高崎市ホームページにおいて、「はまゆう山荘」は、天然温泉でなく人工温泉である旨、お詫びと訂正をさせていただいた。</p> <p>2点目に、「倉淵の飲食店等が全部掲載されていないが、その掲載基準はあるのか」の問いについては、特に掲載基準はないが、スペース等の関係から紹介できる商店等に限りがあり、そして選定基準をサポートに一任したため、掲載された商店等の他にも魅力ある商店等はあるかと思うが、ご理解をいただきたい。</p> <p>なお、今回のガイドマップのサポートの選任については、広報高崎を通じ広く市民から一般公募し、8名の応募があった。その内倉淵地域からは、3名が応募した。一般公募のサポート8名を倉淵、箕郷、群馬、新町の各地域の担当とし、マップづくりに取り組んでいただいた。ご理解をいただきたい。</p>

No.	質 疑	回 答
2	<p>農林業の生産振興事業というものが重点事業の中にあるが、これに関連して質問する。</p> <p>今年は、非常にイノシシの害が多い。特に水有地域のもちほは、ほとんど全滅で、上ノ久保も1箇所全滅である。ついに406号線を越え田んぼや畑に入って来た。来年以降、作る方も不安になり、岩氷の方でも諦めて作らないというところもある。やぶになると余計イノシシは出るということで、抜本的に考えていかないと倉淵の農業そのものがおしまいになるような気がする。</p> <p>倉淵地域では、電気柵を張り防除しているが、被害の状況や抜本的な対策についてお聞きする。</p>	<p>有害鳥獣対策では、捕獲と防除の二つの対策を実施している。</p> <p>有害鳥獣捕獲については、猟友会を中心とした捕獲隊を組織し、罠による捕獲をしている。防除については、電気柵による防除対策を行っている。今までの過去の長い経緯の中で、トタンで各農地を囲い、また、忌避剤をまいて近づかないようにするなど色々な対策をとってきたが、電気柵が有効であるということで、電気柵の原材料支給を行っている。</p> <p>9月1日現在における支給状況は、当初予算で300万円程の予算があったが、これを使い果たす状況である。そのくらい今年度はイノシシ被害というものが、全町内に起こり、一部流用の許可をいただき、被害の大きい地域を重点的に現地確認し、対応しているところである。</p> <p>また、現段階において、被害金額をおさえていない。これに関しては、農政の方で把握するわけだが、イノシシが田んぼに入り荒らした場合、水稲共済の該当になる。ここで、被害金額が、把握されるのではないかと考えている。また、倉淵の場合、特殊な乾燥方法「はんで」をしているが、この「はんで」にかけた米がイノシシに荒らされた場合でも被害がある程度多い場合には、共済の対象になる。</p> <p>さらに、現在のイノシシの状況だが、平成17年度は36頭捕獲されたが、今年度は9月1日現在で、既に60頭捕獲されている。</p> <p>なお、抜本的な対策だが、現段階において、これが有効という方法はない。基礎をふせ金網で編んであるフェンスで囲った地区もあったそうだが、金網を食い破ってイノシシが入った。フェンスも有効な対策とまでは言い切れない状況になっている。倉淵町としては、色々な模索の中で電気柵が効果としては高いという状況である。これは、抜本的な対策にはならないが、一番効果があるという状況で現在支給をしている。</p>

No.	質 疑	回 答
2		<p>今年の8月27日に区長会に相談させていただいたが、鼻曲山鳥獣保護区が倉渚地域にあり、その保護区に、さらに月並の休猟区を編入したいと、県から第9次鳥獣保護計画のことで話があった。しかし、これ以上被害が増えるということについては、とても住民の信頼が得られないということで、編入については、お断りした。</p> <p>獣医さんの話では、電気牧柵、あるいは檻等では、なかなか被害を減らすことはできなく、やはり、獣の個体の数を減らす対策をしなければ抜本的な解決はできないということである。</p> <p>本日、市議会の経常任委員会が、イノシシ被害の現状視察ということで、倉渚と箕郷管内を視察している。先日の議会一般質問でも、3名の議員さんがイノシシ被害について質問や要望していたので、予算については、若干目途がつくかと思う。イノシシ対策については、倉渚地域だけで解決できないので、県の林務部等と協議していきたい。</p>
3	<p>合併後初めての予算編成で、大変難しいところもあるかと思う。予算編成方針でも、一律的な削減ではなくて、重点的に配分を行う、と言っている。</p> <p>10月1日から農政改革で、補助対象、助成対象となる農家の条件が、個人で4ha以上となり、おそらく高崎市内でも対象になる個人農家は、幾人もいないと思う。そうなると、確実に国からの助成は減り、倉渚地域では、ほとんど助成対象にならない。</p> <p>NHKの番組で、群馬県は、小麦の生産全国第4位の生産地だが、助成がなくなると、赤字覚悟で作らなければならず、おそらく小麦生産農家は減るのではないかと、言っていた。</p> <p>一律的に農政改革されると、高崎地区はかなり疲弊し、益々遊休農地が増えるような気がする。特に倉渚は、有機、無農薬、低農薬野菜等の栽培が盛んで、米も非常においしいので、その辺を考慮し、倉渚の農業が衰退しないような予算を是非お願いしたい。</p>	<p>要望のため回答の必要なし。</p>